

「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討状況について

1 要旨・目的

全国トップレベルの高度医療を提供する機能や、医療人材を育成・派遣する機能を持つ「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討を進めており、令和4年11月に策定した「高度医療・人材育成拠点基本構想」（以下「基本構想」という。）に基づき、新病院の具体的な医療機能や施設整備等に関する検討を進めるため、再編対象病院等と連携して開催した「高度医療・人材育成拠点基本計画策定会議」について報告する。

また、最新医療に関する県民公開セミナーにおいて実施した基本構想に対する県民からの質疑応答のほか、医療機関再編による影響が予想される地域の意見聴取のため開催した地域懇話会について、併せて報告する。

2 現状・背景

本県においては、医師や診療科の偏在、高度医療機器の分散、都市部における医療機能の重複などに課題がある。とりわけ、高度な医療資源が集中する広島都市圏において、医療資源を集約化することにより、県内全域を対象に高い水準の医療を提供するとともに、中山間地域の地域医療を維持する必要がある。

3 概要

(1) 対象者

県民、医療関係者等

(2) 実施内容

令和4年11月に新病院に必要な主な医療機能や広島都市圏の医療機関の再編等について、関係病院等で構成する広島都市圏病院長会議及び拠点ビジョン推進会議において、基本構想として合意が得られた。

この基本構想に基づき、新病院を一体となって構築する関係病院において、新病院に整備する医療機能や施設計画等に関する基本計画策定会議を開催するとともに、医療人材の確保や育成、中山間地域への医師の循環方策など重点分野については、大学病院等と連携した検討部会を個別に設置して検討を進めている（検討体制は別紙参照）。

また、県主催の最新医療に関する県民公開セミナーにおいて、基本構想に対して寄せられた県民からの質問に答えるとともに、医療機関再編による影響が予想される地域に対しては、住民や医療関係者、再編病院等で構成する地域懇話会を開催し、地域医療の在り方等に関する意見聴取を図っている。

ア 基本計画策定会議の議題及び主な意見等について（2月28日～4月28日開催）

(ア) 基本計画の構成案（下線部：今回議論）

目次	内容
第1章	基本的な考え方 (基本理念・基本方針等)
第2章	<u>新病院の規模・医療機能</u> (病床数、診療科目等)
第3章	<u>施設整備方針</u> (医療機能等に基づく施設整備方針)
第4章	部門別整備計画 (部門別整備方針、運営計画等)
第5章	<u>施設基本計画</u> (敷地内配置計画、階別構成等)
第6章	医療機器整備計画 (主要機器、整備方針等)
第7章	情報システム整備計画 (整備方針、システム導入範囲等)
第8章	地域医療体制確保計画 (医師循環に係る方針、仕組み等)
第9章	運営形態 (有識者会議の提言を踏まえた新病院の運営形態)
第10章	整備手法 (分離発注方式、ECI方式等)
第11章	事業計画 (収支計画、スケジュール等)

救急医療
 小児医療
 がん治療センター
 心臓血管（心臓病）センター
 脳卒中センター
 周産期医療
 消化器センター
 呼吸器センター
 腎臓病センター
 感染症医療
 災害医療 など

(イ) 会議構成員（団体）

J R 広島病院、中電病院、県立広島病院、広島県

(ウ) 第4回基本計画策定会議（4月28日開催）までの主な議題及び意見等について

項目	内容
新病院の医療機能・施設整備方針	重症系病床数 ○現行の3病院（県立広島病院、J R 広島病院、中電病院）の将来患者推計、新病院と同規模の全国平均の病床利用率から総数を算出しているが、 <u>高度集中治療室や小児集中治療室などの内訳は個々の病床の積み上げ方を含めて引き続き検討していく必要がある。</u>
	手術室数 ○手術室数については、単に手術件数により算出するのではなく、全身麻酔が必要な手術かどうかなど、より深堀して考えていく必要があるのではないか。
	化学療法 ○外来の化学療法（抗がん剤治療）については、 <u>地域と連携しながら、新病院で対応すべきものとそうでないものを検討していく必要がある。</u>
	人工透析 ○人工透析については、腎移植をする以上ある程度確保しておかなければならないが、 <u>慢性期の外来維持透析については、患者の受入先の確保が可能かを含めて慎重に検討していく必要がある。</u>

	健診機能	○健診機能については、要検査、要治療となった患者がそのまま来院しやすく、新規患者につながりやすい一方、 <u>専門スタッフや面積を確保する必要や周辺医療機関との役割分担も考慮しながら、保有しない方向で検討を進めてはどうか。</u>
	搬送設備	○物品搬送手段について、自走式ロボットの導入はまだ全国でも事例が少ないことから、現状の延長をベースに、段階的に導入していくことで検討を進めてはどうか。
施設基本計画	建築工法	○新病院の建築工法については、建物のライフサイクルコストなどを含めて具体的な試算を行いながら、検討していく必要がある。 ○広島がん高精度放射線治療センターと新病院の連携については、 <u>医療機能だけでなく、患者の利便性等を考慮し、建物の接続についても検討してはどうか。</u>

イ 各検討部会における主な議題及び意見等について（2月15日～4月24日開催）

区分	内容
主な検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ○医師循環の仕組みについて ○医療人材の確保策について ○医療情報システム（DX）について
各検討部会における主な意見	<p>地域医療体制確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医師の派遣について、例えば広大な医局から新病院に医師を派遣し、さらにそこから人を（地域に）派遣することは非常に難しいため、<u>新病院と広大な医局を一つの大きい医局のような形にして、人材プールを大きくし、そこから人を派遣するのであれば可能ではないか。</u> ○県東部も含め連携できるエリアを決めてネットワークを作り、どのような医師が足りないか、<u>エリアごとに意見集約、分析したものを大学医局に提示し、医師の配置調整をしていく形が良いのではないか。</u> ○<u>中山間地域に人を派遣するときの一番の大きな問題は指導医。総合的な視点で指導ができる人間がいて初めて、研修医や専攻医が派遣できるため、指導医の派遣、循環、支援も一緒に考えないといけない。</u>
	<p>医療人材確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新病院の戦略としては、<u>大量の初期臨床研修医を引き込むだけでなく、専攻医育成のための専門領域プログラムにおける指導医体制を構築すべき。</u>今の若手医師はそこに注目している。 ○開院に向けての助走期間はできるだけ質の高い研修医を集める工夫が必要である。
	<p>医療情報システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究も含めて診療情報のデータ活用体制を構築することは経営戦略であると言える。<u>データ活用部門を作ることにより、経営戦略も行えるという観点が必要ではないか。</u> ○単に3病院を統合する議論ではないこと認識しつつ、各病院の特徴はしっかりと検討した上で、臨床現場や研究の観点から何が望まれているかをしっかりと掴んで検討していきたい。
会議構成員	大学病院、医師会、行政等

ウ 地域懇話会の議題及び主な意見等について（3月24日開催）

区分	内容
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関再編による影響が予想される地域の医療体制について ○県立広島病院の土地活用方針について
中 区 ・ 南 区 住 民	主な意見 基本構想 <ul style="list-style-type: none"> ○新病院ができることにより、より良い環境ができることになるので、<u>中電病院が移転し新病院に集約することについては、賛成である。</u> ○新病院の整備により、<u>高度な医療が提供できるようになることや、これまで広島県にないこども病院のような機能ができることは良いことであり、期待している。</u> ○他県での成功事例はどのようなものがあるのか。
	医療体制 <ul style="list-style-type: none"> ○県立広島病院がなくなることで、<u>高齢者を中心に住民への不安があり、県病院がなくなることについては、反対である。県病院は残したまま</u>で、新病院の整備を進めてもらいたい。 ○緊急時は少しでも早い搬送をしてもらいたい、<u>駅北では陸橋などが渋滞しており、すぐに搬送ができなくなるのではないかな。</u>
	跡地機能 <ul style="list-style-type: none"> ○住民は県立病院の医師を信頼しており、<u>跡地には民間ではなく、県立病院として残してほしい。</u> ○県病院が移転したあとに<u>医療のレベルが落ちないように、また、地域が歓迎できるような機能を検討し、住民へ説明してほしい。</u>
中区・南区 医師会長	<ul style="list-style-type: none"> ○入院が必要な高度な機能は新病院で行うが、<u>外来や在宅医療・介護などは新病院で行うべきではなく、そうした機能が移転後の跡地に必要となるのではないかな。</u> ○南区の医師会員へのアンケートの結果、反対の意見は4割程度。南区に医療機能が残ることを要望する。
有識者	<ul style="list-style-type: none"> ○若い医師は良い医療がやりたいので、そうした医療環境を整備することは必要である。医療従事者の声も聴いてほしい。 ○今回の構想により良い影響、悪い影響が生じるが、<u>悪い影響をいかに最小にしていくかを考え、何を残すのか考えていく必要がある。</u> ○今後もデータを分析・提示し、住民の理解をさらに進めていく必要がある。 ○5号線が開通すれば、南方面からの緊急時のアクセスは改善するのではないかな。
会議構成員	地域住民代表（主に社会福祉協議会会長）、有識者、地区医師会、 県立広島病院、中電病院、広島県

※会議構成員については、必要に応じて関係機関の参加を求める。

エ 県民公開セミナーにおける意見・質問に対する回答について（一部抜粋）（3月19日開催）

意見・質問	回答
すばらしい病院ができるように。 医師も充実した病院を。	<ul style="list-style-type: none"> ○基本構想は、高度な医療や様々な症例を集積する新病院を整備することによって、県民に高い水準の医療を提供するとともに、全国から意欲ある医師を惹き寄せ、大学と連携・協働して医師が不足している地域に医師を派遣する体制をつくることを目指しており、県民の皆様が安心して暮らし続けることができる体制を整えていきたいと考えています。

<p>南区、中区への住民説明はありますが、JR病院をかかりつけとしている地区の住民への説明検討会などはないのでしょうか。</p>	<p>○病院が移転する地域（中区及び南区）については、地域住民の代表や地区医師会、有識者、区役所で構成する「地域懇話会」を開催し、地域の意見や要望を聴くこととしています。</p> <p>○東区については、地域のかかりつけ医と新病院との連携体制を構築するため、まずは、東区医師会と協議したいと考えています。</p>
<p>新病院の進捗状況や発生している問題点を定期的に県民に知らせてほしい。</p>	<p>○県では令和3年度から高度医療・人材育成拠点に係る協議内容を県ホームページに適宜掲載するとともに、県議会（常任委員会）に進捗状況を報告してきました。引き続きホームページへの掲載や県議会への報告、公開セミナー等により県民への周知やコミュニケーションに努めていきたいと考えています。</p>
<p>「高度医療・人材育成拠点」整備構想の大きな目的のひとつに中山間地域医療の医師不足に対応するためとありますが、県北・中山間地域にどのようにして医師を派遣するのでしょうか。</p>	<p>○中山間地域への医師派遣につきましては、これまでの自治医科大学卒業医師及び大学医学部の地域卒業医師の派遣に加えて、今後は、広島大学や各地域の医療機関と連携して、地域の医療ニーズを収集・共有し、大学と県が一体的に効果的な医師派遣を行う仕組みを検討することとしています。</p>
<p>新病院は県病院と民間病院が統合すると聞いていますが、雇用形態が異なり職員の雇用や待遇が気になります。</p>	<p>○統合に当たっての職員の雇用に関しては、職員の皆様の意向に応えられるよう検討を進めていきます。</p> <p>○職員の具体的な処遇や勤務労働条件については、今後、調整していくこととなりますが、職員が安心してやりがいを持って働き続けることができる環境を整えることが重要であると考えています。</p>

(3) スケジュール

令和5年9月を目途に新病院の基本計画をとりまとめる。

また、医療機関再編による影響が予想される地域の医療体制及び県立広島病院の土地活用方針についても、地域懇話会における意見を踏まえ、基本計画と合わせてとりまとめる。

(4) 予算額（一部国庫）

令和5年度当初予算額 203,367千円

前年度繰越予算額 65,253千円

(5) その他（県HP）

ア 最新医療に関する県民公開セミナーについて

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/276/koudoiryou-jinzaiikusei-kyoten-seminar-.html>（※県民公開セミナーにおける最新医療に関する講演や県の基本構想に関する説明動画、県民からの質疑応答などを掲載）



イ 医療機関再編の影響が予想される地域の医療体制について

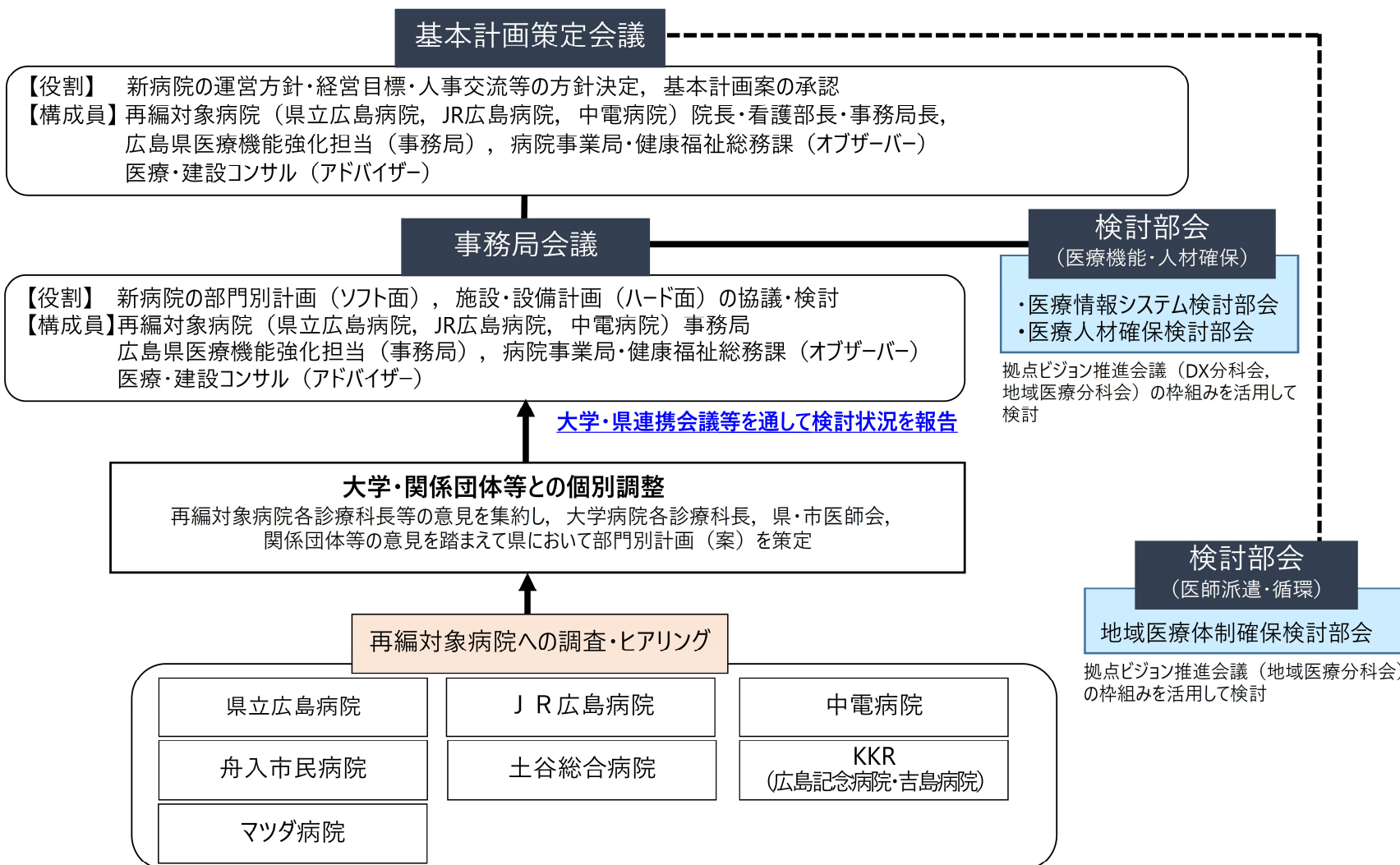
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/276/saiheniryoutaisei.html>

（※地域懇話会における医療機関再編による影響の説明資料や議事概要などを掲載）



高度医療・人材育成拠点基本計画の検討体制について

《基本計画の検討体制》



※高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議にも検討状況を適宜報告し意見を聴取する。